

『防災政策プログラム 水災害リスクマネジメントコース』の研修プログラムの一環として、(独)国際協力機構(JICA)が行っている集団研修「洪水防災」の研修員の方々が淀川ダム統合管理事務所及び天ヶ瀬ダムに来訪されました。淀川水系の統合管理や平成25年台風18号出水時の対応について説明や講義を行いました。

概要

日時：平成26年6月6日(金)

10:30～11:30(事務所) 13:00～14:00(天ヶ瀬ダム)

場所：淀川ダム統合管理事務所及び天ヶ瀬ダム

参加人数：12名

主催：独立行政法人 国際協力機構(JICA)

□統合管理システムについて

淀川ダム統合管理事務所による淀川水系の7ダムの統合管理の方法や洪水予測システム、司令室の設備と機能について説明を行いました。

また、去年の台風18号出水におけるダムの統合操作等の対応状況について説明しました。



淀川ダム統合管理事務所司令室にて概要説明

□天ヶ瀬ダムについて

午後からは場所を宇治市に移動して、天ヶ瀬ダムの見学をして頂きました。

日頃、質問されないダムの費用負担に関する質問など、熱心に見学されていたのが印象的でした。今回の研修が防災技術の一助になればと思います。



天ヶ瀬ダム堤頂における説明

※防災政策プログラム 水災害リスクマネジメントコースは、政策研究大学院と(独)土木研究所 ICHARM及び(独)国際協力機構の連携により水災害被害軽減の総合的計画立案、実践活動に専門的な知識を持って参加できる実践的人材を養成することを目的として計画された研修です。

【問い合わせ先】

国土交通省 近畿地方整備局
淀川ダム統合管理事務所防災情報課
〒573-0166 枚方市山田池北町10番1号
TEL 072-856-3131

